



国土交通省
気象庁
Japan Meteorological Agency



気象庁のひと になろう



こんにちは。このリーフレットを手にとっていただき、ありがとうございます。

私たちは大雨や地震、火山噴火などの自然現象を監視し、天気予報や警報等の情報を発表して、国民の皆さんの命や幸せを守るために日夜奮闘しています。

子供の頃から気象庁に憧れ、その一員になりたいと願い、そして今、「気象庁のひと」として働いています。

気候変動や大地震、火山噴火などが身近な危機として叫ばれる今、あなたも「気象庁のひと」となり、大切な人の笑顔を守るために一緒に働きませんか。



東京管区気象台

大学生用

令和8年度
東京管区気象台80周年
更なる未来を目指して

東京管区気象台は、関東甲信越・東海・北陸の1都16県を管轄し、各県に16の地方気象台と、成田・羽田・中部空港に航空地方気象台を抱える気象庁の組織です。気象庁の約5,000人の職員のうち、管内で約800名が働いています。

☝ 気象庁に入るには

表：気象庁の試験区分毎の採用実績数（R7.4.1時点）

試験区分		R6	R7
総合職		10（1）	10（4）
一般職・大卒程度	行政	45（15）	25（17）
	物理	65（15）	56（10）
	デジタル・電気・電子	5（1）	6（1）
	化学	14（6）	12（8）
	土木	11（2）	12（0）
	農学	2（0）	9（3）
	農業農村工学	-	1（1）
	林学	1（0）	3（1）

（ ）内は女性人数

- 人事院の国家公務員採用試験を経て採用されます。
- 一般職（大卒程度）試験において、令和6年度から「農学」「農業農村工学」「林学」、令和7年度から「教養」（技術系へ配属）の試験区分からも採用を行っており、幅広く技術系の職員を募集しています。
- 採用後、管内の各気象台での勤務に加え、希望に応じて本庁での勤務もあります。

☝ 採用後はどうなる？

Q：採用されたらどこに配属されますか？

A：技術系（大卒程度）の採用者は、全国の気象台に配属されます。一方で行政の採用者は、気象庁本庁または管区気象台の総務部門の部署に配属されます。

Q：入るのに専門知識は必要ですか？

A：必須ではありません。多くの先輩が採用後に気象や地震について学んでいます。研修で学んだり、配属先で教わりながら仕事を覚えていきます。

Q：どんな業務を担当しますか？

A：行政系は総務や人事、厚生、会計等の事務、技術系は予報や観測、地震火山、通信、防災等を担当します。行政系の方が技術系の職につくこともあります。

Q：転勤はありますか？

A：あります。通常は2～3年に一度ですが、個人の事情にできる限り配慮した上で人事異動が計画されます。

☝ 先輩からのメッセージ

採用から4年が経過し、これまで観測や予報、気象解説などを経験してきました。また、令和6年能登半島地震が発生した際には石川県災害対策本部に派遣され、各機関の活動の支援にあたりました。契約や調整業務などのデスクワークから、機器の点検や災害支援の現場の最前線まで、自分の興味や希望に合わせて様々な角度から、人命を守るための業務にあたることができるのが魅力だと考えています。

（令和2年度採用 一般職・大卒程度・化学 R. K.）

航空地方気象台で航空気象の観測業務を担当しています。主な業務内容として、目視で視程や雲の高さなどを観測し、気象観測測器から得られるデータと併せて管制官やパイロットなどに今の気象状況を迅速に提供しています。また、観測データの品質を保つため、風を測る風向風速計や雲の高さを測る観測測器の点検も定期的に行っています。特に、急な風の変化や雷などの気象現象は航空機の運航に大きな影響を与えるため、正確な気象情報をいち早く提供し航空機の安全な運航を支援していることに大きなやりがいを感じています。（令和2年度採用 一般職・大卒程度・物理 K. N.）

東京管区気象台
〒204-8501

東京都清瀬市中清戸3-235
電話：042-497-7183
担当：総務課人事係

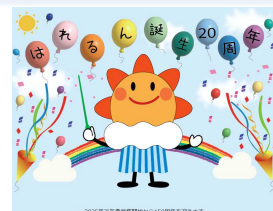
東京管区気象台
職員募集案内HP



東京管区気象台
X（旧Twitter）



気象庁
職員募集案内HP



気象庁マスコット
キャラクター「はれるん」